

2013年4月10日

特定非営利活動法人 動物実験の廃止を求める会 (JAVA)  
理事長 長谷川 裕一 様

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社  
広報渉外本部 マネージャー [REDACTED]

### 化粧品等の動物実験に関する質問への回答

略啓

標記の件、先般 送付いただきました公開質問状につきまして、当社の回答を返送させていただきます。よろしくご査収くださいませ。

なお、回答にあたっては、いただいた質問状の形式にそった回答の依頼を受けておりましたが、当社の趣旨を正しく理解いただくために、あえて、別書式による回答とさせていただきます。悪しからず了承いただければ幸いです。

不一

#### <回答書に関する連絡先>

回答者名: 遠藤紀幸  
所属: プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社  
広報渉外本部 マネージャー  
連絡先: [REDACTED]  
記入年月日: 2013年4月10日

## 化粧品等の動物実験に関する質問への回答

### 動物実験ならびに今後の方針について

P&Gグループでは、世界的に、動物を用いた試験を可能な限り廃止し、代替法に置き換えていくことを企業方針として明確に定めており、P&Gグループのすべての製品に関して、各国の法規制で求められる場合などのごく一部の例外を除き、動物実験は行っていません。

各国や地域、企業が動物を用いた試験の廃止・削減に向けて努力していることは、当社の方針と趣旨を同じくするものであり、望ましいことだと存じます。規制に関しては、残念ながら、代替法が確立されているにも関わらず、国によっては、製品や成分の安全性確認を目的に法規制で動物実験を求める場合や、ある国で認められた代替法が、別の国では認められていない場合もいまだに見受けられます。

P&Gグループは、こうした動物実験を求める法規制を代替法に置き換えるため、代替法の確立に努めるとともに、各国の行政機関などに、規制見直しの働きかけを積極的に行っており、できるだけ早い時期に、そのような試験が社会において全面的に廃止されることを望んでいます。

### <代替法に関するP&Gグループの取り組み>

#### ■ 代替法の確立の為の研究

P&Gグループでは、様々な技術革新、コンピューターモデリングや、蓄積データを活用することにより、ほとんどの安全性評価を、動物を用いずに行うことに成功してきました。インビトロ試験法、構造活性相関、ヒト組織培養技術などの技術開発によって、さらに多くの代替法を安全性評価のために活用しています。

近年、P&Gグループでは、新たに資金を投じ、皮膚及び角膜を模した培養系を代替法として構築しました。これまでの研究成果は、これらの培養系を用いた評価結果がヒトに対する刺激に対応していることを示しています。また、より完全な安全性情報を得るために、トキシコゲノミクスといった新たな研究分野の確立にも寄与しています。

現在、より効果的で詳細な安全性評価方法の構築が期待されていることから、P&Gグループでは、方針に基づき、ゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクス、バイオインフォマティクスといった先進の科学的手法の活用と進展に尽力していきます。

#### ■ 代替法開発の実績

P&Gグループでは、長年にわたり代替法の確立に寄与してきました。これまでに、2億7,500万ドル以上の研究費を投じ、50以上の代替法を開発しました。そして、各国の行政機関などと協力し、代替法に関する既存の規制の見直しに対する働きかけを行っています。

#### ■ 代替法推進と動物保護の為の協力関係

P&Gグループは、世界各国の行政や団体と協力して、代替法の確立と推進に努めています。

(パートナー例):

- ✓ ICCVAM (米国動物実験代替法検証省庁間連絡委員会: Interagency Coordinating Committee on the Validation of Alternative Methods)
- ✓ ECVAM (欧州動物実験代替法検証センター: European Center for the Validation of Alternative Methods)
- ✓ The Humane Society of the United States (HSUS)
- ✓ Ecopa (The European Consensus-Platform for Alternatives)
- ✓ IIVS (The Institute for In Vitro Science)
- ✓ The European Partnership for Alternative Approaches to Animal Testing (EPAA)

※日本においても、JaCVAM (日本動物実験代替法検証センター: Japanese Center for the Validation of Alternative Methods)をはじめとする代替法に関連した機関や団体に協力しています。